

作成日(改訂日) : 2017年9月20日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : トアロー®フロアブル CT
 会社名 : OATアグリオ株式会社
 住所 : 東京都千代田区神田小川町 1-3-1 NBF 小川町ビルディング 8階
 担当部署 : 品質保証室
 電話 : 088(684)0220
 FAX : 088(686)7055
 緊急連絡先電話番号 : 03(5283)0251(本社)
 整理番号(SDS No.) : OAT0141-6
 使用上の制限 : 農薬

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

健康に対する有害性

急性毒性(経口) : 区分外
 急性毒性(経皮) : 区分外
 皮膚腐食性・皮膚刺激性 : 区分外
 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 : 区分外
 皮膚感作性 : 区分 1A
 生殖細胞変異原性 : 区分外

環境に対する有害性

水生環境急性有害性 : 区分外

* 上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語

警告

危険有害性情報

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

H317

注意書き

【安全対策】

ミスト/スプレーの吸入を避けること。(P261)
 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。(P272)
 保護手袋を着用すること。(P280)

【応急措置】

皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹼で洗うこと。(P302+P352)
 特別な処置が必要である。(この SDS の『4. 応急措置』を参照) (P321)
 皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断/手当てを受けること。(P333+P313)
 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。(P362+P364)

【廃棄】

内容物/容器は知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する(地方公共団体が処理を行っている場合には、地方公共団体に委託すること)。(P501)

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物
 化学名(又は一般名) : BT 水和剤(殺虫剤)

成分名	含有量(%)	CAS No.	化審法番号	安衛法番号
バチルス・チューリンゲンシス菌の産生する結晶毒素	7	-	-	-
水等	93	-	-	-

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

多量の水と石鹼で洗うこと。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
気分が悪い時は、医師に連絡すること。
皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。
眼の刺激が持続する場合、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合

水で口腔内を洗浄する。多量の水を飲ませ、可能であれば胃中のものを吐き出させる。
被災者に意識のない場合には、口から何も与えてはならない。
医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤

火災の状況に応じた適切な消火剤を使用する。
使ってはならない消火剤: 棒状注水

火災時の特定危険有害性

火災によって刺激性、腐食性及び/又は毒性のガスを発生するおそれがある。
加熱により容器が爆発するおそれがある。

特定の消火方法

放水による消火の場合、本品を高濃度に含有する液が河川等に流出しないように注意が必要である。
周辺火災の場合には、何ら危険を伴わなければ速やかに安全な場所へ移動させる。
移動できない場合には、容器とその周辺に散水して冷却させる。
消火が不可能なら、周辺を防護してそのままなくなるまで燃焼させる。
消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。

消火を行う者の保護

消火作業の際は、空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。
火災が発生した場合には、到着した消防署員や警察官に本品があることを知らせる。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項

直ちに、すべての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。
関係者以外は近づけない。
風上に留まる。
作業者は適切な保護具(『8. 暴露防止及び保護措置』参照)を着用して、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
低地から離れる。
適切な防護衣を着けていないときは破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。
立ち入る前に、密閉された場所を換気する。

環境に対する注意事項

河川等に排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。

除去方法

危険でなければ漏れを止める。
乾燥した土、砂あるいは不燃性物質で吸収し、あるいは覆って容器に移す。

少量の漏洩や回収残渣は布等で拭き取る。

二次災害の防止策

排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱いおよび保管上の注意

取扱い

『8. 暴露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

取扱い後はよく手を洗うこと。

飲み込みを避けること。

ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。

皮膚と接触しないこと。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

保管

密栓し、直射日光を避け、食品と区別してなるべく低温なところで保管する。

酸化剤から離して保管する。

包装、容器の規制はないが密閉式の破損しないものに入れる。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策

本製品を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。

管理濃度および許容濃度

成分名	管理濃度(厚生労働省)	許容濃度(産衛学会)	許容濃度 (ACGIH)
バチルス・チューリング ンシス菌の産生する結 晶毒素	-	-	-

保護具

呼吸器用の保護具 : 防毒マスク又は空気呼吸器

手の保護具 : 合成ゴム手袋

眼の保護具 : 保護ゴーグル

皮膚及び身体の保護具 : 長袖の作業衣

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態

形状 : 液体

色 : 淡褐色

臭い : データなし

pH : データなし

物理的状態が変化する特定の温度/温度範囲

沸点 : データなし

融点/凝固点 : データなし

分解温度 : データなし

引火点 : なし

発火点 : なし

蒸気圧 : データなし

蒸気密度 : データなし

比重/密度 : 1.00~1.05

溶解性

水に対する溶解性 : データなし

オクタノール/水分配係数 (log Pow) : データなし

その他のデータ

: アルコール、アセトン、エーテルに不溶

10. 安定性及び反応性

安定性

通常の保管条件では安定。

避けるべき条件

危険な反応の原因となる条件は知られていない。

避けるべき材料

危険な反応の原因となる化学物質は知られていない。

危険有害な分解生成物

情報なし

11. 有害性情報

急性毒性

経口 LD₅₀ 値 : >5000 mg/kg(♂♀ラット・マウス)

経皮 LD₅₀ 値 : >2000 mg/kg(♂♀ラット)

皮膚腐食性・皮膚刺激性

刺激性なし(ウサギ)

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性

ごく軽度の刺激性あり(ウサギ)

皮膚感作性

感作性あり(モルモット)

生殖細胞変異原性

成分の情報により、区分外に分類した。

Ames 試験、Rec アッセイ、染色体異常 : 陰性(有効成分のデータ)

12. 環境影響情報

生態毒性

LC₅₀(96 時間) : >2000 ppm(コイ)

LC₅₀(48 時間) : >2000 ppm(ミジンコ)

13. 廃棄上の注意

本品を直接排水や河川等に廃棄してはならない。

焼却処理を行う場合には、アフターバーナーおよびスクラバーを具備した焼却炉で少量ずつ焼却する。

大量に廃棄する場合には、製造業者に連絡する。

知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。(地方公共団体が処理を行っている場合には、地方公共団体に委託する。)

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

番号 : 非該当

クラス : 非該当

輸送の特定の安全対策及び条件

積載する場合には、容器の落下や転倒等の防止策を講じるとともに、直射日光や雨を遮断するための措置を講じる。容器は乱雑に取扱わない。

15. 適用法令

農薬取締法 登録番号 第 20056 号

毒物及び劇物取締法 非該当

労働安全衛生法 名称等を通知すべき有害物: 非該当

化学物質管理促進法(PRTR) 非該当

16. その他の情報

参考文献

OATアグリオ株式会社保有データ
MSDSnavi(日本ケミカルデータベース株式会社、2017)

連絡先

製品に関する問い合わせ先: コールセンター0120-210-928

中毒に関する緊急問い合わせ先: 公益財団法人 日本中毒情報センター

中毒 110 番	一般市民専用電話 (情報提供料: 無料)	医療機関専用有料電話 (情報提供料: 1 件 2000 円)
大阪 (365 日、24 時間対応)	072-727-2499	072-726-9923
つくば (365 日、9~21 時対応)	029-852-9999	029-851-9999

責任の限定について

安全データシートは、化学製品を安全に取扱うための参考情報として、当該製品を取扱う事業者
に提供されるものであって、安全を保証するものではありません。また、ここに記載された数値は、規格
値や品質を保証する数値ではありません。

この安全データシートは、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、本
品(当該製品)に関する全ての情報が網羅されているわけではありません。また、記載内容は当該製
品の一般的な取扱いについて記載したものです。従いまして、当該製品を取扱う事業者は、個々の
取扱い等の実状に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、この安全デー
タシートを活用されるようお願いいたします。